

南田辺・狛田地区

開発基本構想

2008

当地区は京阪奈丘陵地区にある 120ha (民間所有地)を対象としたR&D(リサーチアンドリプロダクト)、具体的には環境と調和する研究開発産業団地 (Knowledge Factory) 開発の基本構想である。

計画地は京阪奈自動車道路を挟んで二分されており、西側ブロックは管理センターを中央に比較的大規模施設を導入し、緑地、現況保全緑地をネットワークさせ、自然的造成と道路計画を行っている。

東側ブロックは現況池の周りに職員の居住となる環境重視型戸建住宅地と中層住宅地を配し、外周部に研究施設群を導入して、緑環境と一体となる構成としている。

